

Sports Net

ちば 2024年4月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2024年4月15日

「スポーツは平和とともに」

新日本スポーツ連盟千葉県連盟

〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17

Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454

URL <http://njsf-chiba.perma.jp>

E-mail njsf1970chiba@gmail.com

発行人 園川 峰紀

通巻 260号

難しかった 楽しかった 優勝した 全国スキー競技大会に参加して

2月24～25(土日)、全国スキー協GS競技大会が長野県の湯ノ丸スキー場で行われ、初めて選手として参加しました。

*「GS」：グランドスラローム＝大回転



右端が本田さん

なにせ初めての体験なので前日講習からの参加です。

元ワールドカップ選手の清澤恵美子さんと須貝未里さんが講師となって練習メニューを次々と指示していきますが、これが

なかなか難しい。

それでも「スキー協の教程内容と同じことを言っている」と割り切って頑張りました。またコース取りでは「とにかくポールに体を向けて滑っていくこと」と言われ、その要領

が見えてきました。

当日は、昨年初級指導員を取得した東京スキー協の横川さんにコースの見方、滑るうえで注意する事を教えてもらい挑戦です。目標は、すべての旗門をきちんと滑り完走すること。滑走タイムは二の次で臨みました。

結果は1日目4位、2日目はなんと優勝することができました。と言っても参加したカテゴリーは「競技初心者の部・男子」で参加選手は1日目6名、2日目は2名でしたが。

来年は今年と同じ湯ノ丸スキー場で開催されるようです。興味のある方はぜひ参加してみませんか。



会場の湯の丸高原スキー場

(素喜人 本田満)

コートが出入りが便利に！ 高浜テニスコートに出入口新設！

千葉市主管のスポーツ施設改善要請として新スポ連で以前から市スポーツ振興課宛に要請していた「高浜庭球場出入口新設」の要求ですが、この春やっと実現しました。

以前はゲーム中のコートの出入りはプレー中の選手の集中力を切らす弊害があり試合進行がスムーズにいかないことがありましたがこれで一気に解消！同テニス場を利用している愛好者からも称賛の声が上がっています。要請当時は

担当者からも「実現は難しい」という回答でしたがこの度実現できたことは素直に嬉しいですね！

(千葉県テニス協議会・吉田)



ニューフェイスチームの活躍に期待！？ ～～第58回千葉県野球協議会リーグ戦開幕～～

大谷翔平選手を含め日本人選手の活躍が期待されるMLB（米大リーグ）、日本プロ野球（NPB）の開幕に先立ち、千葉県野球協の2024年度シーズンが始まりました。

プレーボールは3月10日（日）犢橋球場（千葉市花見川区所在）で9月まで続く長いシーズンの幕を開けました。

当日は4試合が生まれ、そのうち2試合がワールドゲーム、他の2試合も打撃戦が展開され、「打高投低」が印象に残る試合でした。そんな中で今年から協議会に加盟した2チーム（稲毛タイガース・千葉Drunkers）の活躍が目立ちました。

第一試合 放医研 vs 稲毛タイガース

初回裏、稲毛タイガース・梅津選手の先頭打者



新加入の稲毛タイガース

HRで先制、続く2回にもランナーをおいてタイムリーで加点、3回にも四球などからの6安打で6点を追加毎回得点で11点をゲットしてワールドゲーム成立。

一方、放医研は開幕戦の緊張もあってか無得

点に終わる。

第二試合 千葉Drunkers vs デビルウィングス

新規加入の「千葉Drunkers」2回デッドボールと連打でためたランナーを9番武井選手のレフトオーバーのスリーベースで3点ゲット4回も四死球のランナーを4番田之上選手のレフトオーバーで2点を加点。デビルウィングスもヒット、エラーで得点、5回も連打で加点がそこまで。

第三試合 黒猫 vs 隼

黒猫初回立ち上がりよく2塁打の早川選手を柳谷選手のタイムリーで得点。隼は2回3回と四死球で出塁したランナーを手堅く返し一挙11点で試合を決めました。

第四試合 アルティメッツ vs FC

アルティメッツはいつもの打棒がふるわず単発三安打。FCは移籍1年目の石垣投手の踏ん張り安定したピッチングで3安打完封。打つ方は5回打棒爆発 四球エラーのランナーを手堅く返し一挙6点を奪い試合を決めました。

これから秋まで続く長いシーズン。勝った、負けた、とこれから幾多の名勝負が繰り広げられることも期待したいと思います。残り試合も各選手、チーム全員の実力を発揮し、決勝リーグ戦目指し頑張ってください。

<各試合のスコアは次のとおり！>

チーム	I	II	III	IV	計
放医研	0	0	0	0	0
稲毛タイガース	2	3	6	×	11

チーム	I	II	III	IV	V	VI	計
千葉Drunkers	0	3	0	2	0	0	5
デビルウィングス	0	0	1	0	1	0	2

チーム	I	II	III	IV	計
黒猫	1	0	0	0	1
隼	0	6	5	×	11

チーム	I	II	III	IV	V	計
アルティメッツ	0	0	0	0	0	0
FC	0	0	1	0	6	7

いつもと違ったメンバーと試合ができる喜び 生き生きと語る選手達

～～千葉県テニス協議会第42回春季大会・混合ダブルス～～～

45ペア90名のテニスプレイヤーが集う第42回春季大会・混合ダブルスが春分の日（3月20日）稲毛海浜公園テニスコートで行われました。

午前8時半過ぎ伊東運営委員による進行で開会式が行われた後、合計9面のオムニコートに思い思いのカラフルなテニスウェアに身を包んだ45組90名の選手達が散らばり、前半戦のリーグ戦が始まりました。

試合は6-0で比較的早く決着が付くコートや、接戦が続くTB（タイブレイク）に持ち込まれるコートもあり、予定していた11時半近くになっても決勝トーナメント戦の組み合わせに至らず、折から当日の天気予報では、午後から大幅に崩れ、最悪雷予報まで出ていたことから運営委員の皆さんは利用時間内に終わるかどうかが内心ヒヤヒヤ！！

しかし、お昼近くになって試合進行が遅かったコートもどうやら終了。次々に1位、2位、3位トーナメント戦へと試合は進みます。

そんな中、出場していた選手たちにインタビューしました。

○ 新スポ連のテニス大会は他の大会と違って多く試合できるし、いつもと違った方と試合ができるのが嬉しい。住んでいるところは会場から遠い（銚子・茨城）ですが楽しいので参加しています（辻野・柳堀ペア）

○ 2年ほど前、高知で行われた全国大会に出場したことがあります。今年は沖縄で開催ですので是非出場したいですね。その為にも9月の予選会（混合ダブルス）で優勝したいです。写真撮られているとモチベーションが上がりますね。（三浦・田辺ペア）

○ 白子でテニスクラブのコーチをしています。全国大会の開催実績もありますよ。今日は風も強いのでプレーがうまくできるか心配です

（高橋・篠崎ペア）

○ いつもは違った方とペアで出場するんですが、今日は久しぶりに夫婦での出場です。頑張ります。（天野夫妻ペア）

新スポ連の大会はリーグ戦・トーナメント戦と最低3試合保証が原則、勝ち上がれば、もっともっと多くの試合が出来るのが肝！と聞いていましたがアットホームな試合運営と合わせてテニス愛好者に人気がある秘密を垣間見た思いがしました。

また、本大会への参加希望者が70組を超えたという、その思いを余計に強く感じました。

その後心配された天気の急変もなく午後5時前には無事大会終了。

試合結果の詳細は千葉県テニス協議会HPをご覧ください。



出番を待つ選手の皆さん



モチベーション上がります
三浦・田辺ペア



新スポ連の大会、楽しい
辻野・柳原ペア

理事会報告

3月29日（金）穴川コミュニティセンター会議室にて第4回となる理事会を開催しました。行われました。

理事会は4月20日に予定されている県連盟第52回定期総会の議案を中心に第3回理事会以降の経過等を交え協議されました。

【経過報告関係】

各協議会から、第3回以降の経過と2023年度の活動について報告がありました。

【議題】

- 1) 定期総会代議員の選出について
各協議会から選出代議員の報告を受けました
テニスとスキー以外の代議員については選出完了
代議員の名前と住所を確定
(議案の事前送付の為)
- 2) 「私たちを巡る情勢」「2023年度活動の総

括」「2024年度活動方針」「決算」「予算」などの総会議案について提案し、理事の意見を伺った。

- 3) 2024年度は役員改選の年に当たっているため、各協議会からの選出をお願いしました。
3桁の会員を擁する協議会については、複数の役員をお願いしました。
- 4) 昨年度から今年度に懸けていくつかの交通機関において値上げが実施されていたが、事務局の見落としによって、交通費の見直しが遅れていた事から、理事会等へ参加する為の交通費見直しについて了承いただいた。
- 5) 前回の理事会で見送られた旅費規程について、何点かの見直しを行い、総会に上程できる事になった。
- 6) 各議案についての意見交換は行ったものの、時間に制約があった為、意見のある者は10日までに、事務局まで連絡を入れる。
代議員予定者にはそれを受けて改訂した者を議案として送付する。

スポーツアラカルト

私のスポーツ遍歴

学生時代運動・スポーツはまるでだめでした。体育は「1」か良くて「2」。運動会は出来たら欠席したかった。

そんな私でも、スキーは別。北海道の田舎生まれでは、冬の遊びは限られていて、ランドセルを放り投げると一目散にゲレンデに（ゲレンデとは言っても裏山の段々畑でしたが）。

それから10年以上スポーツとは無縁の生活が続き、次に出会ったのがテニス。大学時代、バイトも宿題も無いときに壁打ちをしようと高校の授業で習った軟式テニスのラケットを衝動買いし、小学校の体育館で壁打ちをしていたら、風でボールが飛ばないという思いをたくさんした為、ボールを硬式のボールに替えて続けていたところ、ラケットが折れてしまい、硬式のラケットを買い、時々20~30分の壁打ちを楽しんでいました。

就職した職場で、硬式テニスクラブを作るからと

先輩に誘われ、打ち方もルールも知らないままのテニス部に強制入部。

さらに、臨席の先輩がインターハイのバドミントンの選手だったので、これまた無理矢理にバドミントン部へ。

テニスもバドミントンも何の基礎も無いまま、いきなり競技（草大会レベルですが）の世界に放り込まれてしまいました。

自分から欲した？スポーツというのは山登りくらいでしょうか!?

新田次郎の「孤高の人」「栄光の岩壁」と言った山岳小説を読みその気になって、無謀登山を繰り返していました。徹夜明けで鷹巣山（奥多摩）に登り、足がつって2時間以上山頂にとどまらざるを得なかったり、白馬から朝日岳に向かう途中雪倉岳で、人跡とカモシカの跡を間違えて、遭難しかかかったりしていました。

バドやテニスはそこそこ試合を楽しめるようになりましたが、スキーも山もまだまだ修行中です。

新日本スポーツ連盟千葉県連盟 佐々木睦昭

人物探訪 (No.7)

富田 登美子 さん

元 県連盟事理事 / テニス協役員



愛車トミー号の前で！
トミー＝習志野〇〇〇ろ
10・31 (トオ・ミ・イ)

今回は新スポ連盟千葉県連盟元理事以外に、東京都テニス協元理事、全国テニス協元理事(審判部長担当)等が語るように新スポ連テニス協では選手としてはもちろんのこと、役員として長年新スポ連に関わってこられた富田登美子

さんをご紹介します。

大学卒業後、民間企業に4年勤めた後、都立高校教諭にトラバーク。生徒と一緒に「テニスを楽しむ会」を立ち上げたのがテニスとのなれそめ、と語る同氏の目には遠い青春の日がチラッと垣間見えた感じがしました。

今ではテニスの殿堂として有名な「有明テニスの森」。新スポ連東京都テニス協が同会場を利用し選手ファーストを徹底的に重視した運営に感銘を受け即協議会加盟を決断。その後、運営委員を引き受け、部活の生徒達と一緒に連盟活動に心身ともに傾注。

その生徒さん達もその後各地の連盟で活躍しているとのこと。嬉々として語る同氏の脳裏に楽しかった思い出が詰まっているようでした。

しかし、一転して千葉県テニス協の話になると、当時の千葉県テニス協の運営が東京テニス協と違い、なかなかうまく展開できなかったものの「新スポ連テニス協の灯は消さない！」を合言葉に苦しい中で頑張っって全国大会を千葉県で開催できたことは今でも忘れられないですね」

また、コロナ渦の中で大会が開けない状況と

なり運営委員会が日常的に開催できない中「運営委員会は絶対に欠席しないこと」に留意して活動することを心がけたとの同氏の一言は重いものがあります。

「長いテニス歴の中で他団体のある方との出会いが忘れない！」何のことかと問いますと「その方とはある大会の決勝で対戦した方です。試合には負けましたがその後も親身になってテニスのいろんなことを教わりました。その方の一言一言がその後の私のテニス人生に生かすことが出来ました。新スポ連の大会に参加される方には是非こんな素敵な出会いをしてほしい」との答え。素晴らしい出会いは人を変えるとありますが改めて同氏のメッセージを噛みしめたいですね。



長年テニス協の役員として会議での討議事項を大事にしてきた同氏にとって残念なことは目の病気で夜の車の運転が不安になったこともあり新スポ連の理事を退任せざるを得なくなったとのこと。

現在は配偶者の介護に時間を費やしていますが、老々介護の



の為にテニスを楽しんでいるとのこと。根っからのテニスウーマンなんですね。

最後に会員の皆さんへのメッ

ッセージ「戦争下ではスポーツはできません。スポーツを愛する人は鍛えられた敏感さから戦争が起きそうな気配を感じ取ることが出来ます。その気配を見逃さず声を上げ戦争反対の意思表示をしてほしい。戦争はスポーツの本当の敵です。」納得の意一言ですね！

(文責 園川峰紀)

SPORTS CALENDAR

4月

4月7日(日) 野球協リーグ戦 (尼ヶ台球場)
4月14日(日) 野球協リーグ戦 (尼ヶ台球場)
4月15日(月) リレーマラソン打合せ
4月21日(日) 野球協リーグ戦 (尼ヶ台球場)
4月28日(日) テニスなのはな大会 (女子D) 稲毛海浜
卓球ペアマッチ大会 (花島公園体育館)
4月29日(月・休) 野球協リーグ戦 (こてはし球場)

4月11日(木) 四役会議
4月14日(日) 卓球協議会総会 (穴川コミュニティセンター)
4月19日(金) 常任理事会
4月20日(土) 県連盟総会 (県スポーツセンター・宿泊棟)

5月

5月3日(金) テニス第17回なのはな大会男子D 稲毛海浜
5月4日(土) テニス第17回なのはな大会女S 高浜庭球場
5月5日(日) ミックスバレーボール柏大会 (柏中央体育館)
5月6日(月) 野球協リーグ戦 (犢橋球場)
5月11日(土) テニス第17回なのはな大会男子S 稲毛海浜
5月18日(土) テニス第17回なのはな大会混合D 稲毛海浜
5月19日(日) 千葉・青葉の森リレーマラソン
5月25日(土) テニス混合3ペアチーム対抗戦 稲毛海浜
5月26日(日) 野球協リーグ戦 (青葉の森球場)

5月9日(木) 四役会議
5月17日(金) 常任理事会

能登半島地震の影響 スポーツ界にも大きな制約が.....

今年年明け早々に能登地方を襲ったマグニチュード7の大地震から早いもので3か月近くが経ちました。倒壊した家屋がそのまま、道路の寸断があり移動もままならない、ライフラインも回復していない地域も散見される等、未だに避難所生活を余儀なくされている方々は1万人を超えています。

そのような状況から被災地のスポーツ活動が大きく制約を受けている実態が3月上旬スポーツ庁の諮問機関・スポーツ審議会の総会で報告されました。

報告によりますと、文部科学省の調査を基に発災約10日後と2か月後の被害状況を比較。社会体育施設の物的被害は168件から316件に、学校施設の物的被害は834件から1021件に増加。スポーツ庁関係者は「体育館などの避難所利用は減少傾向にあるものの、物的被害については調査が進んだこともあり件数は増加している」と言います。

学校のスポーツ実施状況は、

- 体育の授業を空き教室等やオンラインで実施する事例がある
 - 部活動に活動場所を近隣や別の自治体に移して実施している
- 等の実態が明らかになりました。高校野球で

春の選抜甲子園大会に出場が決まった日本航空高校の野球部員たちが同校の姉妹校がある山梨県に移動して活動を続けている状況も記憶に新しいところです。

一旦大災害が発災すると避難所として学校の体育館などが避難所として活用されるのは致し方ないところですが、災害大国・日本は2011年の東日本大震災以降同じような大災害を幾度となく体験してきました。しかしながらこと復興にあたっては同じことを繰り返しています。

日本と同じ地震災害が多いイタリアでは国が責任をもって対応していると言います。先が見えない状況を少しでも明るくするためにも一日も早い復興計画が必要ですが、国は「やってる感」を示すだけ。

東日本大震災でも示されたように、スポーツは被災された人たちに少なからず立ち上がるきっかけを与えることが出来る可能性があります。

スポーツ施設を本来の目的に使用できるようになるよう国・県の暖かな支援が求められています。



理事長の独り言